

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和7年2月27日(2025.2.27)

【国際公開番号】WO2024/154240

【出願番号】特願2024-571487(P2024-571487)

【国際特許分類】

F 2 8 F 1/12(2006.01)

F 2 8 F 1/36(2006.01)

F 2 8 D 1/053(2006.01)

F 2 8 F 1/40(2006.01)

F 2 8 F 21/08(2006.01)

F 2 8 D 1/047(2006.01)

F 2 4 F 1/0067(2019.01)

F 2 4 F 1/0325(2019.01)

10

【F I】

F 2 8 F 1/12 C

F 2 8 F 1/36 C

F 2 8 D 1/053 A

F 2 8 F 1/40 P

F 2 8 F 21/08 A

F 2 8 D 1/047 C

F 2 4 F 1/0067

F 2 4 F 1/0325

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月16日(2024.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

段方向に配置された伝熱管と、

ワイヤー線により波状に成形され、波状の形状を有する波状部と、前記伝熱管に挿入されて接合されている伝熱管接合部と、を有するワイヤーフィンと、  
を備え、

前記ワイヤーフィンの波の進む方向である周期間隔方向が、前記伝熱管の前記段方向に沿っている

40

熱交換器。

【請求項2】

前記伝熱管は、断面が長軸を有する扁平管であり、

前記ワイヤーフィンには、

前記伝熱管が、前記長軸の方向から挟みこまれている

請求項1に記載の熱交換器。

【請求項3】

前記ワイヤーフィンは、

前記伝熱管に圧入されている

請求項1又は2に記載の熱交換器。

50

## 【請求項 4】

前記ワイヤーフィンの波の振幅方向の端部であって、隣接する前記端部を接続している接続ワイヤーを更に有する

請求項 3 に記載の熱交換器。

## 【請求項 5】

前記ワイヤーフィンは、アルミニウム材から構成されており、

前記ワイヤーフィンと前記伝熱管とは、

ろう付け、又は、垂鉛溶射によって接合されている

請求項 1 又は 2 に記載の熱交換器。

## 【請求項 6】

円形状、円弧状、又は、U 字状である

請求項 1 又は 2 に記載の熱交換器。

## 【請求項 7】

前記伝熱管が、円形状、円弧状、又は、U 字状に配置されて、円形状、円弧状、又は、U 字状に構成されている

請求項 1 又は 2 に記載の熱交換器。

## 【請求項 8】

請求項 1 又は 2 に記載の熱交換器を備えた

空気調和機。

## 【請求項 9】

筐体の内部に設けられ、伝熱管と、波状の形状を有する波状部及び前記伝熱管に挿入されて接合されている伝熱管接合部を有するワイヤーフィンと、を備え、前記ワイヤーフィンの波の進む方向である周期間隔方向が、前記伝熱管の段方向に沿って配置されている熱交換器と、

前記筐体の内部に設けられ、前記熱交換器を介して熱交換した空気を前記筐体の外部に吹き出す送風ファンと、

を備え、

前記熱交換器は、

円形状、円弧状、又は、U 字状であり、

前記送風ファンを囲む様に配置されている

空気調和機。

## 【請求項 10】

前記筐体が、室内に設置された室内機である

請求項 9 に記載の空気調和機。

10

20

30

40

50